

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 日本史 科目 日本史探究

教 科： 日本史 科 目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（『詳説日本史』山川出版社）

教科 日本史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】主体的・対話的で深い学びを実現するために、課題を設定し、その追究の枠組みとなる多様な視点に注目する。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする活動を展開し、広い視野を獲得する。
- 【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な現代世界に関する歴史的認識を養う。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により国民の自覚、自国の歴史への愛情、他国や他国の文化を尊重する精神などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	軍部の台頭 【知識及び技能】 第一次世界大戦以降、恐慌が連鎖していく過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 恐慌が連鎖する経緯とその影響について、当時の政策や国民の日記などの資料から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分を当時の国民の立場に置き換え、当時の経済状態や政策について想像する。	1. ガイダンス 2. 戦後恐慌・金融恐慌に政府はどのように対応したのか。 3. 1920年代後半の外交・経済政策はどのように展開したのか。	【知識・技能】 恐慌に際しての政府の対応と国民の感情について、諸資料から情報を読み取れている。 【思考・判断・表現】 恐慌が起きた背景とその影響について、歴史的用語を用いながら相互に関連付けて説明することができる。金輸出の解禁とそれに伴う政治・経済・社会の混乱について、後の軍国主義の拡大との関係を念頭に置きながら説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1920年代の経済の変動と社会の動揺について、当時の国民の視点などから自らに引き付けて捉えようとしている。	○	○	○	5
	第二次世界大戦① 【知識及び技能】 日中戦争から日米開戦に至る過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「大東亜共栄圏」の理念と実態について、資料から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分を当時の国民の立場に置き換え、開戦当時の世論の背景について想像する。	4. 日本は中国との全面戦争をどのように始めたのか。 5. 政府はどのように国民を戦争に動員したのか。 6. ドイツが戦争を始めると、日本はどのように対応したのか。 7. 日本はどのようにアメリカとの戦争を始めたのか。	【知識・技能】 満州事変に際しての世論・軍部の直接行動に関する諸資料から情報が読み取れている。欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取れている。 【思考・判断・表現】 「大東亜共栄圏」の理念と実態を、日本が行った主な政策とそれによるアジア諸国への加害の歴史も踏まえながら、歴史用語を用いて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日中戦争と日米開戦に対する世論の違いについて、当時の日記などから読み取り、自らにひきつけて捉えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第二次世界大戦② 【知識及び技能】 空襲や沖繩戦、原爆投下などの被害を学び、降伏に至る過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 総力戦の特色を踏まえ、空前の惨禍について、資料から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦時下の生活を資料から想像しつつ、各人が平和で民主的な社会の実現に努める重要性を認識する。	8. 日本は「大東亜共栄圏」で何を行ったのか。 9. 戦争中にどのような教育が行われていたのか。 10. 国民はどのように戦争を支えていたのか。 11. 沖繩戦はどのような目的で行われたのか。	【知識・技能】 戦時体制の強化と戦争の長期化がもたらした被害について理解している。 【思考・判断・表現】 日中戦争・第二次世界大戦・アジア太平洋戦争の特色と惨禍について、歴史用語を用いながら説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空襲・沖繩戦・原爆投下・満蒙開拓などに関する証言を読む・視聴することを通し、平和で民主的な社会の実現に必要なものは何か、追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査	12. 日本はどのように降伏を決定したのか。		○	○		2
学	戦後の日本と世界 【知識及び技能】 戦後の日本社会が民主化していく過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦前の日本社会と比較し、日本がどのような社会を目指そうとしていたのかを考察する。 【学びに向かう力、人間力等】 日本が目指した社会の中で排除された人々の存在に目を向けつつ、そのような人々も含めたより良い社会の形成のために努力する必要性を認識する。	13. 日本の占領はどのように始まったのか。 14. 日本の民主化はどのように行われたのか。 15. 日本国憲法によって何がどう変わったのか。 16. 戦後の日本経済はどのように回復に向かったのか。 17. 日本の独立はどのように達成されたのか。 18. アメリカの日本占領政策は、どう変わっていったのか。	【知識・技能】 戦後の日本が民主化していく過程について、戦前の日本社会と比較し相違点を踏まえたうえで理解することができる。 【思考・判断・表現】 日本の民主化について、アメリカの意図が大きく影響していたこと、その背景には当時の国際情勢があることを踏まえたうえで、戦後の日本がどのような社会を目指そうとしていたのかについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が民主化していく過程の中で排除された人々がいたことにも目を向け、日本が目指した社会が「誰にとって」民主的な社会なのかを追及し、現代社会における問題点と結び付けて考えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						1
	冷戦の開始と講和	19. 冷戦はどのように開始したのか	【知識・技能】				

	<p>【知識及び技能】 冷戦に至るまでの過程を、それぞれの地域の視点から理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦がもたらした影響について、日本国内の政治や経済と結び付けて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間力等】 大国同士の戦争に周辺諸国が巻き込まれた冷戦を通し、現在起きている戦争状態の解決にむけて何が必要かを考える。</p>	<p>20. 朝鮮戦争は日本にどのような影響を与えたのか。</p> <p>21. 在日米軍との間にどのような問題があったのか。</p> <p>22. 55年体制はどのように成立したのか。</p>	<p>冷戦開始の背景とその展開およびその代理戦争としての朝鮮戦争、ベトナム戦争について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 講和条約締結後の日本において、米軍基地問題など課題が残っていたことについて説明することができる。55年体制の成立について、吉田茂や鳩山一郎の政治立場の違いから説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下の朝鮮国民や講和条約締結後の沖縄県民など、日本が独立を回復する過程の中で存在した課題について目を向け、現代に続く社会問題と結び付けて考えることができる。</p>	○	○	○	7
	定期考査						1
3 学 期	<p>高度経済成長期と日本社会の変化</p> <p>【知識及び技能】 高度経済成長期が起きた背景とその過程、影響について基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高度経済成長による恩恵とその課題について、相互に関連付けて考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代につながる日本国内の社会・経済の変化を自らに引き付けて考え、より良い日本社会の形成に向けて何が必要かを考える。</p>	<p>23. 戦後の外交はどのように展開したのか。</p> <p>24. 高度経済成長はどのように始まったのか。</p> <p>25. 高度経済成長期にはどのような課題が現れたのか。</p> <p>26. 高度経済成長はどのように終焉したのか。</p> <p>27. 経済大国化とバブル経済の崩壊は何をもたらしたのか。</p> <p>28. 冷戦終結、湾岸戦争は日本にどのような影響を与えたのか。</p>	<p>【知識・技能】 高度経済成長について、諸資料から読み取り、その利 益的な側面と課題について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 高度経済成長期に起きた諸課題について、被害にあわ れた方々の手記や日記を通して、考察することができる。 また、なぜ諸課題への対応が遅れたのかについ て、諸資料から説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高度経済成長に関する問題について学習する中で、よ り良く経済成長をするためには何が必要かを自らに引 き付けて考えることができる。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							58